

頁	課目	内容	日付
運動課目一覧表	M1 課目	満点を修正	2012/11/20
	欄外	Aクラスに関する記述を修正	2012/11/20
課目	項目	内容	日付
各種	各種	〇〇速歩発進→〇〇速歩で発進	2013/03/31
		〇〇駈歩発進→〇〇駈歩で発進	2013/03/31
		〇へ巻乗り(直径〇m) → 〇へ直径〇mの巻乗り	2013/03/31
		〇へ半輪乗り(直径〇m) → 〇へ直径〇mの半輪乗り	2013/03/31
課目	項目	内容	日付
A1 課目	第2項	着眼点：態勢 → 体勢	2013/03/31
	第5項	「K A F 尋常速歩」を追加	2013/03/31
	第9項	斜手前変換 → 斜め手前変換	2013/02/04
	第8項	「F A 尋常速歩」を追加	2013/03/31
A2 課目	第5項	斜め前変換 → 斜め手前変換	2013/02/04
A3 課目	第2項	中間速歩 → 歩幅を伸ばした速歩	2013/03/31
	第5項	中間速歩 → 歩幅を伸ばした速歩	2013/03/31
	第12項	直径10mの半巻乗り、Bに向かって進む → 右へ直径10mの半輪乗り、Bに向かって進む	2013/03/31
		着眼点 半巻乗り→半輪乗り 態勢→体勢	
	第14項	直径10mの半巻乗り、Eに向かって進む → 左へ直径10mの半輪乗り、Eに向かって進む	2013/03/31
		「H 尋常速歩に移行」を削除 着眼点：半巻乗り→半輪乗り 態勢→体勢	
A4 課目	第5項	「(Kの手前で歩度をつめる)」を追加	2013/02/04
	第7項	歩幅をのばした常歩 → 手綱を伸ばした常歩	2013/02/04
	第12項	X前後で尋常速歩から中間常歩に移行 → X前後で尋常速歩を通して中間常歩に移行	2013/03/31
	欄外	ユバシュトライヘンに関する記述を修正	2012/11/20
A5 課目	第3項	B 左へ半巻き(直径10m) → B X 左へ直径10mの半輪乗り、Fに向かって進む	2013/03/31
		着眼点 半巻き→半輪乗り	
	第10項	H 半巻き(直径10m) → H G 右へ直径10mの半輪乗り、Eに向かって進む	2013/03/31
		着眼点：半巻き→半輪乗り	
	第13項	A F E 収縮駈歩 → A F 収縮駈歩 F E 斜め手前変換	2013/02/04
第16項	F 収縮駈歩 → F A 収縮駈歩	2013/03/31	
欄外	ストレッチ動作に関する記述を修正	2013/02/04	
L2 課目	第5項	S H C M 収縮速歩 → S H C M R 収縮速歩	2013/03/31
M1 課目	第5項	H M 右へ回転、M右へ回転 → H 右へ回転 M 右へ回転	2013/03/31
		着眼点：大きさ図形 → 大きさ <del>と</del> 図形	
	第15項	着眼点：頭頸の態勢 → 頭頸の体勢	
	第18項	F 半輪乗り(直径10m) → F D 右へ直径10mの半輪乗り	
	第23項	K 半輪乗り(直径10m) → K D 左へ直径10mの半輪乗り	
	第26項	Iでフライングチェンジ → I フライングチェンジ	
	第27項	Lでフライングチェンジ → L フライングチェンジ F A 収縮駈歩	
		計を修正	
最高点	合計を修正	2012/11/20	
M2 課目	第2項	F 収縮速歩 → F A K 収縮速歩	2013/02/04
	第6項	G 収縮速歩 → G 中央線上的に入る	2013/02/04
	第7項	頭頸の → 頭頸の	2013/03/31
	欄外	ストレッチ動作に関する記述を修正	2013/03/31
S1 課目	第11項	G 右収縮駈歩発進、M右へ回転 → G 右収縮駈歩で発進 M 右へ回転	2013/03/31
S2 課目	第15項	着眼点：態勢 → 体勢	2013/03/31
	第16項	「B R 収縮駈歩」を追加	2013/02/04
	第17項	H X 収縮駈歩 → H 収縮駈歩でXへ向かう	2013/03/31
	第19項	M X 収縮駈歩 → M 収縮駈歩でXへ向かう	
	第23項	着眼点：態勢 → 体勢	
第24項	「E S 収縮駈歩」を追加	2013/02/04	

日本馬術連盟制定馬場馬術運動課目

平成25年4月1日改定

クラス	課目名	満点	参考時間	大小 勒	水勒	拍車	審判 員数	馬場サイズ	旧課目との対応
S	JEF馬場馬術競技S2課目2013	380	5'10''	可	可	必須	3~5	20×60m	新設
	JEF馬場馬術競技S1課目2013	300	5'30''						旧第5課目(改)
M	JEF馬場馬術競技M2課目2013	330	5'00''						新設
	JEF馬場馬術競技M1課目2013	370	5'30''						旧第4課目(改)
L	JEF馬場馬術競技L2課目2013	290	4'45''						新設
	JEF馬場馬術競技L1課目2013	290	5'30''						旧第3課目A(改)
A	JEF馬場馬術競技A5課目2013	250	3'45''	可	可	任意	2~3	20×40m	新設
	JEF馬場馬術競技A4課目2013	230	4'30''	新設					
	JEF馬場馬術競技A3課目2013	230	4'45''	旧第3課目(SV)					
	JEF馬場馬術競技A2課目2013	170	4'15''	不可	必須				旧第2課目
	JEF馬場馬術競技A1課目2013	150	3'30''	旧第1課目					

\* Aクラスは初級課目とし、経験の浅い人馬対応の課目

\* L~S課目はFEIセントジョージ課目へのステップとしての課目

12/11/5発表、12/11/20修正

# JEF 馬場馬術競技 A1課目 2013

時間3'30''(参考時間) 馬場20m×40m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	<b>A</b> <b>X</b> 尋常速歩で入場 停止－不動－敬礼 尋常速歩で発進	10					ペース、停止、 移行の質、真直性、 コンタクト	
2.	<b>C</b> <b>E</b> <b>B</b> 左手前蹄跡に入る 左へ回転 右へ回転、蹄跡行進	10					正しい馬体の屈曲と <b>体勢</b> の変化 真直性	
3.	<b>KXM</b> 歩幅を伸ばした速歩 (速歩または軽速歩) <b>M</b> 尋常速歩	10					速歩の整正と歩幅の伸展、真直性、 明確でスムーズな移行	
4.	<b>C</b> <b>CX間</b> 左へ直径20mの輪乗り 左尋常駢歩で発進	10					輪乗りの整正、馬体の屈曲 速歩から駢歩への移行	
5.	<b>C</b> <b>EK間</b> <b>KAF</b> 蹄跡行進(左尋常駢歩) 尋常速歩に移行 <b>尋常速歩</b>	10					駢歩の真直性 駢歩から速歩への移行	
6.	<b>FXH</b> <b>H</b> 歩幅を伸ばした速歩 尋常速歩	10					歩幅の伸展と速歩の整正 移行	
7.	<b>C</b> <b>CX間</b> 右へ直径20mの輪乗り 右尋常駢歩で発進	10					輪乗りの整正、馬体の屈曲 速歩から駢歩への移行	
8.	<b>C</b> <b>BF間</b> <b>FA</b> 蹄跡行進(右尋常駢歩) 尋常速歩に移行 <b>尋常速歩</b>	10					駢歩の真直性 駢歩から速歩への移行	
9.	<b>AK</b> <b>KXM</b> <b>MC</b> 中間常歩 斜め手前変換、手綱を伸ばした常歩 (軽いコンタクト) 中間常歩	10					速歩から常歩への移行 後肢の活発な動き、常歩の整正 伸び伸びとした歩調 移行	
10.	<b>C</b> <b>E</b> 尋常速歩で発進、蹄跡行進 左へ直径10mの半巻乗り	10					常歩から速歩への移行 半巻乗りの整正	
11.	<b>X</b> <b>G</b> 中央線上に入る 停止－不動－敬礼	10					ペース、停止、移行の質、 真直性、コンタクト	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		110						

# JEF馬場馬術競技A1課目2013

出番順	競技者名	所属	馬名	
総合観察				
1. ベース(自由自在に変じ、かつ整正であること)	10		1	総合観察所見
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後躯のエンゲイジメント)	10		1	
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和 軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)	10		1	
4. 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助	10		1	
合 計	150			
得点から減点すべきもの/ペナルティポイント				
経路違反 430条6.1を参照				最終得点率%:
1回目 = 2点減		1回目		
2回目 = 4点減		2回目		
3回目 = 失 権		3回目		
その他の違反は1回ごとに2点減 430条6.2を参照				
計				

審判員署名

JEF 2013年4月1日施行  
'12/11/5発表、'13/2/4修正、'13/3/31修正

# JEF 馬場馬術競技 A2課目 2013

時間 4'15''(参考時間) 馬場 20m×40m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	<b>A</b> <b>X</b> 尋常速歩で入場 停止ー不動ー敬礼 尋常速歩で発進	10					ペース、停止、 移行の質、真直性、 コンタクト	
2.	<b>C</b> <b>MXK</b> <b>KA</b> 右手前蹄跡に入る 歩幅を伸ばした速歩 尋常速歩	10					歩幅の伸展と速歩の修正 明確でスムーズな移行	
3.	<b>AC</b> 蛇乗り3湾曲	10					速歩と屈曲の質 図形の正確さ	
4.	<b>CH</b> <b>HK</b> <b>KA</b> 尋常速歩 歩幅を伸ばした速歩 尋常速歩	10					速歩の修正と歩幅の伸展 真直性 明確でスムーズな移行	
5.	<b>AF</b> <b>FXH</b> <b>HC</b> 中間常歩 斜め手前変換、手綱を伸ばした常歩 (軽いコンタクト) 中間常歩	10					速歩から常歩への移行 後肢の活発な動き、常歩の修正 伸び伸びとした歩調 明確でスムーズな移行	
6.	<b>C</b> 右尋常駢歩で発進 続いて右へ直径20mの輪乗り	10					駢歩へのスムーズな移行 輪乗りの修正、馬体の屈曲と平衡	
7.	<b>CM</b> <b>MF</b> <b>FAK</b> 尋常駢歩 歩幅を伸ばした駢歩 尋常駢歩	10					駢歩の修正 歩幅の伸展 明確でスムーズな移行	
8.	<b>KX</b> <b>XM</b> <b>MC</b> 尋常駢歩 尋常速歩 中間常歩	10					スムーズな移行 真直性 運歩の修正	
9.	<b>C</b> 左尋常駢歩で発進 続いて左へ直径20mの輪乗り	10					駢歩へのスムーズな移行 輪乗りの修正、馬体の屈曲と平衡	
10.	<b>CH</b> <b>HK</b> <b>KAF</b> 尋常駢歩 歩幅を伸ばした駢歩 尋常駢歩	10					駢歩の修正 歩幅の伸展 明確でスムーズな移行	
11.	<b>FX</b> <b>XH</b> <b>HC</b> 尋常駢歩 尋常速歩 中間常歩	10					明確でスムーズな移行 真直性 運歩の修正	
12.	<b>C</b> <b>B</b> 尋常速歩で発進 右へ直径10mの半輪乗り	10					常歩から速歩への移行 半輪乗りの修正	
13.	<b>X</b> <b>G</b> 中央線上に入る 停止ー不動ー敬礼	10					ペース、停止、移行の質、 真直性、コンタクト	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		130						

# JEF 馬場馬術競技 A2課目 2013

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

## 総合観察

- ペース(自由自在に变じ、かつ整正であること)
- インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後躯のエンゲイジメント)
- 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和  
軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
- 騎手の姿勢、騎座: 正確かつ有効な扶助

合 計

10			1	総合観察所見
10			1	
10			1	
10			1	
<b>170</b>				
				最終得点率%:
得点から減点すべきもの/ペナルティポイント				
経路違反 430条6.1を参照				
1回目 = 2点減				
2回目 = 4点減				
3回目 = 失 権				
その他の違反は1回ごとに2点減				
430条6.2を参照				
計				

審判員署名

JEF 2013年4月1日施行  
'12/11/5発表、'13/2/4修正

# JEF 馬場馬術競技 A3課目 2013

時間4'45''(参考時間) 馬場 20m×40m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A X 尋常速歩で入場 停止ー不動ー敬礼 尋常速歩で発進	10					ペース、停止、 移行の質、真直性、 コンタクト	
2.	C HXF FA 左手前蹄跡に入る <b>歩幅を伸ばした速歩</b> 尋常速歩	10					速歩の整正 歩幅の伸展 明確でスムーズな移行	
3.	A X 中央線上に入る 右へ直径10mの巻乗り	10					馬体の屈曲とバランス 巻乗りの整正	
4.	X 続いて左へ直径10mの巻乗り	10					馬体の屈曲とバランス 巻乗りの整正	
5.	C MXK KA 右手前蹄跡に入る <b>歩幅を伸ばした速歩</b> 尋常速歩	10					速歩の整正 歩幅の伸展 明確でスムーズな移行	
6.	AF FXH HC 中間常歩 斜め手前変換、手綱を伸ばした常歩 (軽いコンタクト) 中間常歩	10					速歩から常歩への移行 後肢の活発な動き、常歩の整正 伸び伸びとした歩調 明確でスムーズな移行	
7.	C CMB 右尋常駢歩で発進 尋常駢歩	10					明確でスムーズな移行 駢歩の質	
8.	B BFAK 右へ直径15mの輪乗り 尋常駢歩	10					輪乗りの整正 馬体の屈曲とバランス	
9.	KXM X MCHE 斜め手前変換、尋常駢歩 シンプルチェンジ 尋常駢歩	10					バランス 明確でスムーズな移行 3～5歩の質の良い常歩	
10.	E EKAF 左へ直径15mの輪乗り 尋常駢歩	10					輪乗りの整正 馬体の屈曲、バランス	
11.	FXH X HCMBF 斜め手前変換、尋常駢歩 シンプルチェンジ 尋常駢歩	10					バランス 明確でスムーズな移行 3～5歩の質の良い常歩	
12.	FD BM MC 右へ直径10mの半輪乗り、Bに向かって進む 反対駢歩 尋常速歩	10					半輪乗りの整正、馬体の屈曲 反対駢歩の正しい <b>体勢</b> 、バランス 運歩の整正、明確でスムーズな移行	
13.	C CHEK 左尋常駢歩で発進 尋常駢歩	10					駢歩へのスムーズな移行 駢歩の整正、真直性	
14.	KD EH HC 左へ直径10mの半輪乗り、Eに向かって進む 反対駢歩 尋常速歩	10					半輪乗りの整正、馬体の屈曲 反対駢歩の正しい <b>体勢</b> 、バランス 運歩の整正 明確でスムーズな移行	
15.	C CM 右尋常駢歩で発進 尋常駢歩	10					明確でスムーズな移行 駢歩の整正と質	
16.	MBF FA 中間駢歩 尋常駢歩	10					歩幅の伸展とバランス、真直性 駢歩の整正、明確でスムーズな移行	
17.	A X 中央線上に入る 停止ー不動ー敬礼	10					ペース、移行の質、真直性 コンタクトと項の位置	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		170						

# JEF 馬場馬術競技 A3課目 2013

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

総合観察

1. ペース(自由自在に变じ、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後駆のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和、軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座: 正確かつ有効な扶助

合 計

得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

- 経路違反 430条6.1を参照  
 1回目 = 2点減  
 2回目 = 4点減  
 3回目 = 失 権  
 その他の違反は1回ごとに2点減  
 430条6.2を参照

計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
230					
			1回目		
			2回目		
			3回目		
					最終得点率%:

審判員署名



# JEF 馬場馬術競技 A4課目 2013

時間 4'30''(参考時間) 馬場 20m×40m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	<b>A</b> <b>X</b> 尋常速歩で入場 停止—不動—敬礼 尋常速歩で発進	10					ペース、停止、 移行の質、真直性、 コンタクト	
2.	<b>C</b> <b>CHEKA</b> 左手前蹄跡に入る 尋常速歩	10					速歩の整正と質 真直性	
3.	<b>A</b> <b>D</b> 中央線に入る 左へ直径10mの巻乗り	10					速歩の整正と質 バランス 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
4.	<b>DG</b> <b>G</b> 尋常速歩 右へ直径10mの巻乗り	10					速歩の整正と質 バランス 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
5.	<b>C</b> <b>MXK</b> 右手前蹄跡に入る 歩幅を伸ばした速歩 (Kの手前で歩度をつめる)	10					速歩の整正、 真直性、歩幅の伸展 明確でスムーズな移行	
6.	<b>KAF</b> 中間常歩	10					明確でスムーズな移行 常歩の整正と質	
7.	<b>FE</b> <b>EH</b> 手綱を伸ばした常歩 中間常歩	10					後肢の活発な動き、常歩の整正 伸び伸びとした歩調、移行	
8.	<b>H</b> <b>C</b> <b>XF</b> <b>FAK</b> 尋常速歩で発進 中央線に入る 左へレッグイールディング 尋常速歩	10					明確でスムーズな移行 速歩の整正と質 バランス、流暢さ、肢の交叉	
9.	<b>KXM</b> <b>MC</b> 歩幅を伸ばした速歩 尋常速歩	10					速歩の整正、背の柔軟性、移行 バランス、歩幅とフレームの伸展	
10.	<b>C</b> <b>XK</b> <b>KAFB</b> 中央線に入る 右へレッグイールディング 尋常速歩	10					速歩の整正と質 バランス、流暢さ、肢の交叉	
11.	<b>B</b> <b>BMCH</b> 左尋常駆歩で発進 尋常駆歩	10					明確でスムーズな移行 駆歩の整正と質	
12.	<b>HXF</b> 斜め手前変換 X前後で尋常速歩を通して中間常歩に移行	10					バランス スムーズな移行	
13.	<b>F</b> <b>FAK</b> 右尋常駆歩で発進 尋常駆歩	10					明確でスムーズな移行 駆歩の整正と質	
14.	<b>KH</b> <b>HC</b> 中間駆歩(ユバシユトライヘン) 尋常駆歩	10					駆歩の整正、背の柔軟性、セルフキャリッジ バランス、移行、歩幅とフレームの伸展	
15.	<b>C</b> 尋常速歩	10					明確でスムーズな移行 速歩の整正と質	
16.	<b>B</b> 停止 3~4歩後退、直ちに尋常速歩で発進	10					停止、後退、 明確でスムーズな移行	
17.	<b>A</b> <b>X</b> 中央線上に入る 停止—不動—敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		170						

※ユバシユトライヘンとは、騎手が両拳を馬の背峰に沿って約2拳程前へ出して2~3歩進み、馬のセルフキャリッジを確認する動作。

※レッグイールディングの目的は、馬体の柔軟と脚馴致である

# JEF 馬場馬術競技 A4課目 2013

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

## 総合観察

1. ペース(自由自在に変じ、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後躯のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和、軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合 計

10			1	総合観察所見		
10			1			
10			2			
10			2			
<b>230</b>						
				最終得点率%:		
<p>得点から減点すべきもの/ペナルティポイント</p> <p>経路違反 430条6.1を参照</p> <p>1回目 = 2点減</p> <p>2回目 = 4点減</p> <p>3回目 = 失 権</p> <p>その他の違反は1回ごとに2点減</p> <p>430条6.2を参照</p>						
					1回目	
					2回目	
3回目						
計						

審判員署名

JEF 2013年4月1日 施行  
 '12/11/5発表、'12/11/20修正、'13/2/4修正、'13/3/31修正

# JEF 馬場馬術競技 A5課目 2013

時間 3'45''(参考時間) 馬場 20m×40m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	<b>A</b> <b>X</b> 収縮速歩で入場 停止—不動—敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	<b>C</b> <b>E</b> <b>EKAFB</b> 左手前蹄跡に入る 左へ直径10mの巻乗り 収縮速歩	10					速歩の質 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
3.	<b>BX</b> <b>FAK</b> 左へ直径10mの半輪乗り、Fに向かって進む 収縮速歩	10					屈曲、半輪乗りの大きさと図形	
4.	<b>KXM</b> <b>MCH</b> 中間速歩 収縮速歩	10					速歩の整正、柔軟性 歩幅とフレームの伸展	
5.	収縮速歩から中間速歩と 中間速歩から収縮速歩への移行	10					明確でスムーズな移行	
6.	<b>H</b> <b>E</b> 中間常歩 左へ回転	10					速歩から常歩への移行 整正、真直性、常歩の質	
7.	<b>X</b> 停止 3～4歩後退 直ちに中間常歩で発進	10					停止、後退の質 スムーズな移行	
8.	<b>B</b> 右へ回転	10					整正、常歩の質	
9.	<b>F</b> 右収縮駢歩で発進	10					明確でスムーズな移行 駢歩の質	
10.	<b>FAKEH</b> <b>HG</b> 収縮駢歩 右へ直径10mの半輪乗り、Eに向かって進む	10					駢歩の整正 屈曲、半輪乗りの大きさと図形 セルフキャリッジ、バランス	
11.	<b>EKA</b> 反対駢歩	10					反対駢歩の質 セルフキャリッジ、バランス	
12.	<b>A</b> シンプルチェンジ	10					バランス 明確でスムーズな移行 3～5歩の質の良い常歩	
13.	<b>AF</b> <b>FE</b> 収縮駢歩 斜め手前変換	10					真直性 セルフキャリッジ、バランス	
14.	<b>EHC</b> 反対駢歩	10					反対駢歩の質 セルフキャリッジ、バランス	
15.	<b>C</b> シンプルチェンジ	10					バランス 明確でスムーズな移行 3～5歩の質の良い常歩	
16.	<b>CM</b> <b>MF</b> <b>FA</b> 収縮駢歩 中間駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の整正 歩幅とフレームの伸展	
17.	収縮駢歩から中間駢歩と 中間駢歩から収縮駢歩への移行	10					明確でスムーズな移行	

# JEF 馬場馬術競技 A5課目 2013

出番順	競技者名	所属	馬名						
順序	運動課目		最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
18.	<b>A</b> <b>AKEB</b> <b>E-B</b> <b>BFA</b>	尋常速歩 尋常速歩 半輪乗り(直径20m) その際、E-B上で手綱を伸ばし(ストレッチ動作)、 B-F上で手綱を元へ戻す 尋常速歩	10					速歩の整正 整正、バランス リラクゼーション 明確でスムーズな移行	
19.	<b>A</b> <b>G</b>	中央線上的に入る 停止-不動-敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
		手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計			<b>190</b>						

※ストレッチ動作においては、頭頸は前下方へ伸展し、馬の口角の高さは肩先(肩関節)と同じくらいの高さにある。

## 総合観察

- ペース(自由自在に変わり、かつ整正であること)
- インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後駆のエンゲイジメント)
- 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和、軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
- 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
<b>250</b>					
			1回目		最終得点率%:
			2回目		
			3回目		
計					

## 得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

- 経路違反 430条6.1を参照  
 1回目 = 2点減  
 2回目 = 4点減  
 3回目 = 失権  
 その他の違反は1回ごとに2点減  
 430条6.2を参照

審判員署名

# JEF 馬場馬術競技 L1課目 2013

時間5'30''(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	<b>A</b> <b>X</b> 収縮速歩で入場 停止—不動—敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	<b>C</b> <b>HK</b> <b>KAF</b> 左手前蹄跡に入る 中間速歩 収縮速歩	10					整正、グラウンドカバー 歩幅とフレームの伸展と移行	
3.	<b>FB</b> 左肩を内へ	10					整正、速歩の質 屈曲と一定した角度 収縮、バランス、流暢さ	
4.	<b>BX</b> <b>XE</b> 左へ直径10mの半輪乗り 右へ直径10mの半輪乗り	10					整正、バランスと正しい屈曲 屈曲と方向の変換の流暢さ	
5.	<b>EH</b> <b>HCM</b> 右肩を内へ 収縮速歩	10					整正、速歩の質 屈曲と一定した角度 収縮、バランス、流暢さ	
6.	<b>MXK</b> <b>KA</b> 斜め手前変換、中間速歩 収縮速歩	10					歩幅とフレームの伸展、グラウンドカバー 整正、移行	
7.	<b>A</b> 停止—4歩後退 直ちに中間常歩で発進	10					バランス、四肢が揃うこと 真直性と移行	
8.	<b>AF</b> <b>FS</b> <b>SHC</b> 中間常歩 斜め手前変換、手綱を伸ばした常歩 (軽いコンタクト) 中間常歩	10			2		後肢の活発な動き、整正 伸び伸びとした歩調と踏み込み 移行	
9.	<b>C</b> <b>CHS</b> 右へターンオンザホンチス 中間常歩	10					歩幅の短縮、整正、 活発さ、正しいコンタクト	
10.	<b>S</b> <b>SH</b> <b>H</b> 左へターンオンザホンチス 中間常歩 右へ回転	10					歩幅の短縮、整正、 活発さ、正しいコンタクト	
11.	SHCHSHG中間常歩	10					整正、エネルギー	
12.	<b>G</b> <b>M</b> 右収縮駢歩で発進 右へ回転	10					明確でスムーズな移行 バランス	
13.	<b>MR</b> <b>RF</b> <b>FA</b> 収縮駢歩 中間駢歩 収縮駢歩	10					真直性、バランス グラウンドカバー 明確でスムーズな移行	
14.	<b>AC</b> 蛇乗り3湾曲 中央線上でシンプルチェンジ	10					図形の正確さ、整正 正しい屈曲、3~5歩の質の良い常歩	
15.	蛇乗り3湾曲上1回目のシンプルチェンジ	10					明確でスムーズな移行、真直性	
16.	蛇乗り3湾曲上2回目のシンプルチェンジ	10					明確でスムーズな移行、真直性	
17.	<b>CM</b> <b>ME</b> <b>EVPB</b> <b>VP</b> 収縮駢歩 斜め手前変換 反対駢歩 直径20mの半輪乗り	10					整正 真直性、バランス セルフキャリッジ 反対駢歩の正しい姿勢と図形	

※ターンオンザホンチス: 旋回の開始時には数歩の前進は容認される。回転の間、馬は1点を中心にして移動する。

即ち、内方後肢はポイントに近い位置に維持しつつ、その周りを明確な4ビートで踏歩しながら回転する。(半径約1/2m)

# JEF 馬場馬術競技 L1課目 2013

出番順	競技者名	所属	馬名							
順序	運動課目		最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見	
18.	<b>BRM</b> <b>M</b>	収縮速歩 左収縮駢歩で発進	10					明確でスムーズな移行 修正		
19.	<b>MCH</b> <b>HB</b> <b>BPVE</b> <b>PV</b>	収縮駢歩 斜め手前変換 反対駢歩 直径20mの半輪乗り	10					修正 真直性、バランス セルフキャリッジ 反対駢歩の正しい姿勢と図形		
20.	<b>ESH</b> <b>H</b>	収縮速歩 右収縮駢歩で発進	10					修正 明確でスムーズな移行		
21.	<b>HCM</b> <b>MXK</b> <b>KA</b>	収縮駢歩 中間駢歩(Kの手前で収縮駢歩) 収縮速歩	10					真直性、バランス グラウンドカバー、フレームの伸展 明確でスムーズな移行		
22.	<b>A</b> <b>X</b>	中央線に入る 停止－不動－敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置		
		手綱を伸ばした常歩でAより退場								
計			<b>230</b>							

## 総合観察

- ペース(自由自在に变じ、かつ修正であること)
- インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント)
- 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
- 騎手の姿勢、騎座: 正確かつ有効な扶助

合計

10			1		総合観察所見	
10			1			
10			2			
10			2			
合計						<b>290</b>
得点から減点すべきもの/ペナルティポイント 経路違反 430条6.1を参照 1回目 = 2点減 2回目 = 4点減 3回目 = 失権 その他の違反は1回ごとに2点減 430条6.2を参照						
					1回目	
					2回目	
					3回目	
計					最終得点率%:	

審判員署名

# JEF 馬場馬術競技 L2課目 2013

時間 4'45''(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	<b>A</b> <b>X</b> 収縮速歩で入場 停止ー不動ー敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	<b>C</b> <b>S</b> 左手前蹄跡に入る 左へ直径8mの巻乗り	10					整正 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
3.	<b>SV</b> 左肩を内へ	10					整正、速歩の質 屈曲と一定した角度 収縮、バランス、流暢さ	
4.	<b>VL</b> <b>L-S間</b> 左へ直径10mの半輪乗り 左へハーフパス	10					整正、速歩の質 一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
5.	<b>SHCMR</b> <b>R</b> 収縮速歩 右へ直径8mの巻乗り	10					整正 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
6.	<b>RP</b> 右肩を内へ	10					整正、速歩の質 屈曲と一定した角度 収縮、バランス、流暢さ	
7.	<b>PL</b> <b>L-R間</b> <b>RMCH</b> 右へ直径10mの半輪乗り 右へハーフパス 収縮速歩	10					整正、速歩の質 一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
8.	<b>HP</b> <b>PF</b> 斜め手前変換、中間速歩 収縮速歩	10					整正、エラストイシティー、 バランス、グラウンドカバー 歩幅とフレームの伸展	
9.		10					明確でスムーズな移行 速歩の質	
10.	<b>FAK</b> 中間常歩	10			2		整正、背のサプルネス 活発さ、歩幅とフレームの伸展	
11.	<b>KB</b> <b>BR</b> 斜め手前変換、伸長常歩 中間常歩	10			2		整正、背のサプルネス 肩の自由さ、ハミへの伸展	
12.	<b>R</b> 左収縮駢歩で発進	10					明確でスムーズな移行 駢歩の質	
13.	<b>RMCHS</b> <b>SXP</b> 収縮駢歩 斜め手前変換	10					整正、駢歩の質 真直性	
14.	<b>PVE</b> <b>PV</b> 反対駢歩 直径20mの半輪乗り	10					反対駢歩の正しい姿勢と図形 セルフキャリッジ、バランス 半輪乗りの大きさと図形	
15.	<b>E</b> <b>ESHCM</b> シンプルチェンジ 収縮駢歩	10					バランス 明確でスムーズな移行 3~5歩の質の良い常歩 駢歩の質	
16.	<b>MP</b> <b>P</b> 中間駢歩 収縮駢歩	10					歩幅とフレームの伸展、アップヒル傾向 真直性、グラウンドカバー	
17.		10					明確でスムーズな移行	

# JEF 馬場馬術競技 L2課目 2013

出番順	競技者名	所属	馬名						着眼点	観察所見
順序	運動課目		最高点	採点	修正	係数	合計			
18.	<b>PFAKV</b> <b>VR</b>	収縮駢歩 斜め手前変換	10					整正、駢歩の質 真直性		
19.	<b>RSE</b> <b>RS</b>	反対駢歩 直径20mの半輪乗り	10					反対駢歩の正しい姿勢と図形 セルフキャリッジ、バランス 半輪乗りの大きさと図形		
20.	<b>E</b> <b>EVKA</b>	シンプルチェンジ 収縮駢歩	10					バランス 明確でスムーズな移行 3～5歩の質の良い常歩 駢歩の質		
21.	<b>A</b> <b>X</b>	中央線に入る 停止－不動－敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置		
		手綱を伸ばした常歩でAより退場								
計			<b>230</b>							

## 総合観察

1. ペース(自由自在に変じ、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後躯のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和、軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座: 正確かつ有効な扶助

合計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
合計		<b>290</b>			
			1回目		
			2回目		
			3回目		
計					最終得点率%:

## 得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

- 経路違反 430条6.1を参照  
 1回目 = 2点減  
 2回目 = 4点減  
 3回目 = 失権  
 その他の違反は1回ごとに2点減  
 430条6.2を参照

審判員署名



# JEF 馬場馬術競技 M1課目 2013

時間 5'30''(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	<b>A</b> <b>X</b> 収縮駢歩で入場 停止ー不動ー敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	<b>C</b> <b>S</b> 左手前蹄跡に入る 左へ直径8mの巻乗り	10					整正、速歩の質、収縮、バランス 屈曲、巻き乗りの大きさと図形	
3.	<b>SV</b> <b>VKA</b> 左肩を内へ 収縮速歩	10					整正、速歩の質、屈曲と一定した角度 収縮、バランスと流暢さ	
4.	<b>A</b> <b>DE</b> <b>ESH</b> 中央線上に入る 左へハーフパス 収縮速歩	10			2		整正、速歩の質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
5.	<b>H</b> <b>M</b> <b>R</b> 右へ回転 右へ回転 右へ直径8mの巻乗り	10					整正、速歩の質、収縮、バランス 屈曲、巻き乗りの大きさと図形	
6.	<b>RP</b> <b>PFA</b> 右肩を内へ 収縮速歩	10					整正、速歩の質、屈曲と一定した角度 収縮、バランスと流暢さ	
7.	<b>A</b> <b>DB</b> 中央線上に入る 右へハーフパス	10			2		整正、速歩の質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
8.	<b>BRMCH</b> <b>HP</b> <b>PF</b> 収縮速歩 斜め手前変換、中間速歩 収縮速歩	10					整正、エラスティシティー、バランス、 歩幅とフレームの伸展 後軀のエンゲイジメント	
9.	HとPでの移行	10					リズムの維持、 明確でスムーズな移行 フレームの変化	
10.	<b>FAK</b> 中間常歩	10					整正、背のサプルネス、活発さ、 肩の自由さ、	
11.	<b>KR</b> 伸長常歩	10			2		整正、背のサプルネス、活発さ、 フレームの伸展、肩の自由さ、 ハミへの伸展、オーバートラック	
12.	<b>RM</b> 収縮常歩	10					整正、背のサプルネス、活発さ、 歩幅の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ、常歩の移行	
13.	<b>M</b> <b>GH間</b> 左へ回転 左へ半ピルーエット	10					整正、活発さ、 正しいコンタクト、4ビートの維持	
14.	<b>GM間</b> 右へ半ピルーエット	10					整正、活発さ、 正しいコンタクト、4ビートの維持	
15.	<b>H</b> 右へ回転 MG(H)(M)GHC収縮常歩	10					歩幅の短縮と運歩の高揚 頭頸の体勢と運歩の整正	
16.	<b>C</b> <b>CM</b> 右収縮駢歩で発進 収縮駢歩	10					明確でスムーズな移行 駢歩の質	
17.	<b>MP</b> <b>PF</b> 中間駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の質、歩幅とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向、真直性、 明確でスムーズな移行	
18.	<b>FD</b> <b>DB</b> 右へ直径10mの半輪乗り 右へハーフパス	10					駢歩の質、収縮、バランス、流暢さ 一定した屈曲、	
19.	<b>BRMC</b> 反対駢歩	10					駢歩の質と収縮、セルフキャリッジ バランス、真直性、	
20.	<b>C</b> <b>CH</b> シンプルチェンジ 収縮駢歩	10					バランス、明確でスムーズな移行 前後の駢歩の質 3~5歩の質の良い常歩	

# JEF 馬場馬術競技 M1課目 2013

出番順	競技者名	所属	馬名	順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
21.	<b>HV</b> <b>VK</b>	伸長駢歩 収縮駢歩	10								駢歩の質、インパルジョン、バランス 歩幅とフレームの伸展、真直性、 アップヒル傾向、中間駢歩との違い	
22.		HとVでの移行	10								明確でスムーズな移行	
23.	<b>KD</b> <b>DE</b>	左へ直径10mの半輪乗り 左へハーフパス	10								駢歩の質、収縮、バランス 一定した屈曲、流暢さ	
24.	<b>ESHC</b>	反対駢歩	10								駢歩の質と収縮、セルフキャリッジ バランス、真直性、	
25.	<b>C</b> <b>CM</b>	シンプルチェンジ 収縮駢歩	10								バランス、明確でスムーズな移行 前後の駢歩の質 3～5歩の質の良い常歩	
26.	<b>MIE</b> <b>I</b>	斜め手前変換、収縮駢歩 フライングチェンジ	10								正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの質	
27.	<b>ELF</b> <b>L</b> <b>FA</b>	斜め手前変換、収縮駢歩 フライングチェンジ 収縮駢歩	10								正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの質	
28.	<b>A</b> <b>X</b>	中央線に入る 停止ー不動ー敬礼	10								ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置	
		手綱を伸ばした常歩でAより退場										
計			<b>310</b>									

## 総合観察

1. ペース(自由自在に变じ、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、  
背の柔軟、後駆のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和  
軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座: 正確かつ有効な扶助

合計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
合計			<b>370</b>		
得点から減点すべきもの/ペナルティポイント					
経路違反 430条6.1を参照					
1回目 = 2点減			1回目		
2回目 = 4点減			2回目		
3回目 = 失権			3回目		
その他の違反は1回ごとに2点減 430条6.2を参照					
計					最終得点率%:

審判員署名

# JEF 馬場馬術競技 M2課目 2013

時間 5'00''(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	<b>A</b> <b>X</b> 収縮駢歩で入場 停止ー不動ー敬礼 収縮速歩で発進	10					ベース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	<b>C</b> <b>HXF</b> <b>FAK</b> 左手前蹄跡に入る 中間速歩 収縮速歩	10					整正、エラスティシティー、 バランス、後軀のエンゲイジメント 歩幅とフレームの伸展	
3.	HとFでの移行	10					明確でスムーズな移行 フレームの変化	
4.	<b>KE</b> 右肩を内へ	10					整正、速歩の質、 屈曲と一定した角度 収縮、バランス、流暢さ	
5.	<b>E</b> 右へ直径8mの巻乗り	10					整正、速歩の質、 収縮、バランス 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
6.	<b>EG</b> <b>G</b> <b>C</b> 右へハーフパス 中央線に入る 右手前蹄跡に入る	10			2		整正、速歩の質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
7.	<b>RS間</b> <b>SH間</b> <b>HCM</b> 直径20mの半輪乗り 手綱を伸ばして頭頸のストレッチ動作 手綱を元の長さに戻す 収縮速歩	10					整正、リラクゼーション リズムとバランスの維持 徐々に頸を前下方へ伸展 抵抗なく手綱を戻す	
8.	<b>MXK</b> <b>KAF</b> 斜め手前変換、伸長速歩 収縮速歩	10					整正、エラスティシティー バランス、後軀のエンゲイジメント フレームの伸展、中間速歩との違い	
9.	MとKでの移行	10					リズムの維持、流暢さ、 明確でスムーズな移行 フレームの変化	
10.	<b>FB</b> 左肩を内へ	10					整正、速歩の質 屈曲と一定した角度 収縮、バランス、流暢さ	
11.	<b>B</b> 左へ直径8mの巻乗り	10					整正、速歩の質 収縮、バランス 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
12.	<b>BG</b> <b>G</b> 左へハーフパス 収縮速歩	10			2		整正、速歩の質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
13.	<b>C手前で</b> <b>C</b> <b>CHS</b> 中間常歩 左手前蹄跡に入る 中間常歩	10					常歩への移行 整正、背のサプルネス、活発さ	
14.	<b>SXP</b> 斜め手前変換、伸長常歩	10			2		整正、活発さ、 背のサプルネス、オーバートラック 肩の自由さ、ハミへの伸展	
15.	<b>PFA</b> 収縮常歩	10					整正、背のサプルネス、活発さ、 歩幅の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ、常歩の移行	
16.	<b>A</b> 停止、5歩後退、 直ちに右収縮駢歩で発進	10					停止、後退の質 明確でスムーズな移行	
17.	<b>AK</b> <b>KX</b> <b>X</b> 収縮駢歩 右へハーフパス 中央線に入る	10					整正、駢歩の質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、	
18.	<b>I</b> <b>C</b> フライングチェンジ 左手前蹄跡に入る	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの真直性	

# JEF 馬場馬術競技 M2課目 2013

出番順	競技者名	所属	馬名					
順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
19.	<b>HK</b> <b>KAF</b> 中間駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の質、歩幅とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向 真直性	
20.	<b>FX</b> <b>X</b> 左へハーフパス 中央線に入る	10					整正、駢歩の質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、	
21.	<b>I</b> <b>C</b> フライングチェンジ 右手前蹄跡に入る	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの真直性	
22.	<b>MXK</b> 斜め手前変換、伸長駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン 歩幅とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向、真直性 中間駢歩との違い	
23.	<b>K</b> <b>KA</b> 収縮駢歩、フライングチェンジ 収縮駢歩	10					移行、バランス、流暢さ アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの質、	
24.	<b>A</b> <b>X</b> 中央線に入る 停止－不動－敬礼	10					ベース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		<b>270</b>						

※ストレッチ動作においては、頭頸は前下方へ伸展し、馬の口角の高さは肩先(肩関節)と同じくらいの高さにある。

## 総合観察

- ペース(自由自在に変じ、かつ整正であること)
- インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後躯のエンゲイジメント)
- 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和、軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
- 騎手の姿勢、騎座: 正確かつ有効な扶助

合計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
合計		<b>330</b>			
得点から減点すべきもの/ペナルティポイント					
経路違反 430条6.1を参照					
1回目 = 2点減			1回目		
2回目 = 4点減			2回目		
3回目 = 失権			3回目		
その他の違反は1回ごとに2点減 430条6.2を参照					
計					最終得点率%:

審判員署名

# JEF 馬場馬術競技 S1課目 2013

時間 5'30''(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	<b>A</b> <b>X</b> 収縮駢歩で入場 停止ー不動ー敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	<b>C</b> <b>HE</b> 左手前蹄跡に入る 左肩を内へ	10					整正、速歩の質、屈曲と一定した角度 収縮、バランスと流暢さ	
3.	<b>EX</b> <b>XB</b> 左へ直径10mの半輪乗り 右へ直径10mの半輪乗り	10					整正、速歩の質、図形 収縮、バランス、流暢さ	
4.	<b>BF</b> <b>FAK</b> 右肩を内へ 収縮速歩	10					整正、速歩の質、屈曲と一定した角度 収縮、バランスと流暢さ	
5.	<b>KXH</b> 往復手前変換ハーフパス	10					速歩の整正と質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉 姿勢変換	
6.	<b>HCM</b> <b>MXK</b> <b>KA</b> 収縮速歩 斜め手前変換、伸長速歩 収縮速歩	10					整正、エラスティシティー、バランス、 歩幅とフレームの伸展 後軀のエンゲイジメント	
7.	<b>AF</b> <b>FS</b> <b>SH</b> 中間常歩 斜め手前変換、伸長常歩 中間常歩	10			2		整正、背のサプルネス、活発さ、 オーバートラック、肩の自由さ、 ハミへの伸展	
8.	<b>H</b> <b>GM間</b> 右へ回転 収縮常歩 右へ半ピルーエット	10					整正、活発さ、収縮、大きさ 諸関節の柔軟性、屈曲 前進気勢、4ビートの維持	
9.	<b>GH間</b> 左へ半ピルーエット	10					整正、活発さ、収縮、大きさ 諸関節の柔軟性、屈曲 前進気勢、4ビートの維持	
10.	<b>HG(M)G(H)G</b> 収縮常歩	10					整正、背のサプルネス、活発さ、 歩幅の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ、常歩の質	
11.	<b>G</b> <b>M</b> <b>GMR</b> 右収縮駢歩で発進 右へ回転 収縮駢歩	10					明確でスムーズな移行  駢歩の質	
12.	<b>RBEBP</b> <b>PFAK</b> 中間駢歩(Bで直径20mの輪乗りを含む) 収縮駢歩	10					駢歩の質、歩幅とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向、真直性、 明確でスムーズな移行	
13.	<b>KX</b> <b>XI</b> <b>I</b> <b>C</b> 右へハーフパス 直行進 フライングチェンジ 左手前蹄跡に入る	10					駢歩の質、収縮、バランス、流暢さ 一定した屈曲、 アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの真直性	
14.	<b>HK</b> <b>KAF</b> 伸長駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン、バランス 歩幅とフレームの伸展、真直性、 アップヒル傾向、中間駢歩との違い	
15.	<b>FX</b> <b>XI</b> <b>I</b> <b>C</b> 左へハーフパス 直行進 フライングチェンジ 右手前蹄跡に入る	10					駢歩の質、収縮、バランス、流暢さ 一定した屈曲、 アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの真直性	

# JEF 馬場馬術競技 S1課目 2013

出番順

競技者名

所属

馬名

順序		運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
16.	<b>MX</b> <b>MX間</b>	収縮駢歩 右へ半ピルーエット	10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性と屈曲 正しい歩数(3~4歩) 駢歩の質	
17.	<b>M</b> <b>MCH</b>	フライングチェンジ 収縮駢歩	10					バランス、流暢さ、フライングチェンジの質 アップヒル傾向、前後の駢歩の質	
18.	<b>HX</b> <b>HX間</b>	収縮駢歩 左へ半ピルーエット	10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性と屈曲 正しい歩数(3~4歩) 駢歩の質	
19.	<b>H</b> <b>HCM</b>	フライングチェンジ 収縮駢歩	10					バランス、流暢さ、フライングチェンジの質 アップヒル傾向、前後の駢歩の質	
20.	<b>MXK</b> <b>KA</b>	斜線上4歩毎のフライングチェンジ3回 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 フライングチェンジの質、	
21.	<b>A</b> <b>X</b>	中央線に入る 停止ー不動ー敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置	
		手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計			<b>240</b>						

## 総合観察

1. ペース(自由自在に变じ、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、  
背の柔軟、後駆のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和  
軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座: 正確かつ有効な扶助

合計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
<b>300</b>					
得点から減点すべきもの/ペナルティポイント					
経路違反 430条6.1を参照					
1回目 = 2点減		1回目			
2回目 = 4点減		2回目			
3回目 = 失権		3回目			
その他の違反は1回ごとに2点減 430条6.2を参照					
計					最終得点率%:

審判員署名

# JEF 馬場馬術競技 S2課目 2013

時間 5'10''(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	<b>A</b> <b>X</b> 収縮駢歩で入場 停止ー不動ー敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	<b>C</b> <b>MXK</b> <b>KA</b> 右手前蹄跡に入る 斜め手前変換、伸長速歩 収縮速歩	10					整正、エラスティシティー バランス、後駆のエンゲイジメント 歩幅とフレームの伸展	
3.	MとKでの移行	10					明確でスムーズな移行 フレームの変化	
4.	<b>A</b> <b>L</b> 中央線上的に入る 左へ巻乗り(8m)	10					整正、速歩の質 巻乗りの大きさと図形	
5.	<b>LS</b> <b>SHC</b> 左へハーフパス 収縮速歩	10			2		整正、速歩の質 一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
6.	<b>C</b> <b>M</b> <b>GH間</b> 収縮常歩 右へ回転 右へ半ピルエット	10					明確でスムーズな移行、 整正、活発さ、収縮、大きさ、 4ビートの維持、屈曲、前進氣勢 フレクション	
7.	<b>GM間</b> 左へ半ピルエット	10					整正、活発さ、収縮、大きさ、 4ビートの維持、屈曲、前進氣勢 フレクション	
8.	MG(H)(M)GH収縮常歩	10			2		整正、背のサプルネス 歩幅の短縮と高揚、活発さ セルフキャリッジ	
9.	<b>HB</b> 斜め手前変換、伸長常歩	10			2		整正、活発さ 背のサプルネス、オーバートラック 肩の自由さ、ハミへの伸展	
10.	<b>BPF</b> <b>F</b> 収縮常歩 収縮速歩で発進	10					整正 明確でスムーズな移行	
11.	<b>A</b> <b>L</b> 中央線上的に入る 右へ巻乗り(直径8m)	10					整正、速歩の質 巻乗りの大きさと図形	
12.	<b>LR</b> <b>RMC</b> 右へハーフパス 収縮速歩	10			2		整正、速歩の質 一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
13.	<b>C</b> <b>CH</b> 左収縮駢歩で発進 収縮駢歩	10					明確でスムーズな移行 駢歩の質	
14.	<b>HXF</b> <b>FA</b> 斜線上4歩毎のフライングチェンジ3回 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 フライングチェンジの質、	
15.	<b>A</b> <b>DB</b> 中央線上的に入る 右へハーフパス	10					駢歩の整正 頭頭の体勢と馬体の一定した屈曲	
16.	<b>BR</b> <b>R</b> <b>RMCH</b> 収縮駢歩 フライングチェンジ 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向 フライングチェンジの質	
17.	<b>H</b> <b>HX間</b> 収縮駢歩でXへ向かう 左へ半ピルエット	10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性と屈曲 正しい歩数(3~4歩) 駢歩の質	
18.	<b>H</b> <b>HCM</b> フライングチェンジ 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向 フライングチェンジの質	

# JEF 馬場馬術競技 S2課目 2013

出番順	競技者名	所属	馬名								
順序		運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見		
19.	<b>M</b> <b>MX間</b>	収縮駢歩でXへ向かう 右へ半ピルエット	10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性と屈曲 正しい歩数(3~4歩) 駢歩の質			
20.	<b>M</b> <b>MCH</b>	フライングチェンジ 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向 フライングチェンジの質			
21.	<b>HK</b> <b>KA</b>	伸長駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン 歩幅とフレイムの伸展、真直性 バランス、アップヒル傾向			
22.		HとKでの移行	10					明確でスムーズな移行 フレイムの変化、			
23.	<b>A</b> <b>DE</b>	中央線に入る 左へハーフパス	10					整正 頭頭の体勢と馬体の一定した屈曲			
24.	<b>ES</b> <b>S</b> <b>SHCM</b>	収縮駢歩 フライングチェンジ 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向 フライングチェンジの質			
25.	<b>MXK</b> <b>KA</b>	斜線上3歩毎のフライングチェンジ3回 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 フライングチェンジの質、			
26.	<b>A</b> <b>X</b>	中央線に入る 停止-不動-敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置			
		手綱を伸ばした常歩でAより退場									
計			<b>320</b>								

## 総合観察

1. ペース(自由自在に変じ、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、  
背の柔軟、後駆のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和  
軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座: 正確かつ有効な扶助

合計

総合観察	採点	係数	合計	総合観察所見
1. ペース(自由自在に変じ、かつ整正であること)	10		1	総合観察所見
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、 背の柔軟、後駆のエンゲイジメント)	10		1	
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和 軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)	10		2	
4. 騎手の姿勢、騎座: 正確かつ有効な扶助	10		2	
合計	<b>380</b>			
<b>得点から減点すべきもの/ペナルティポイント</b>				
経路違反 430条6.1を参照				
1回目 = 2点減		1回目		
2回目 = 4点減		2回目		
3回目 = 失権		3回目		
その他の違反は1回ごとに2点減 430条6.2を参照				
計				最終得点率%:

審判員署名